



Astena Holdings Co., Ltd.
COMPANY PROFILE

Diversify for Tomorrow.

アステナグループは、持株会社であるアステナホールディングスを核として
ファインケミカル事業、HBC・食品事業、医薬事業、化学品事業、
ソーシャルインパクト事業の5事業の各社で構成されています。
さらにESG経営による持続的な成長を目指すべく
新規事業への投資と育成にも取り組んでまいります。

社名の意味

アステナは「明日（未来）」と「サステナブル（持続可能）」の造語であり、
新たな経営・ガバナンス形態の下で、アステナグループのステークホルダーである皆
様と当社自身が持続的に健やかな未来を迎えられるようなビジネスを行っていく
願いを込めています。

ロゴの意味

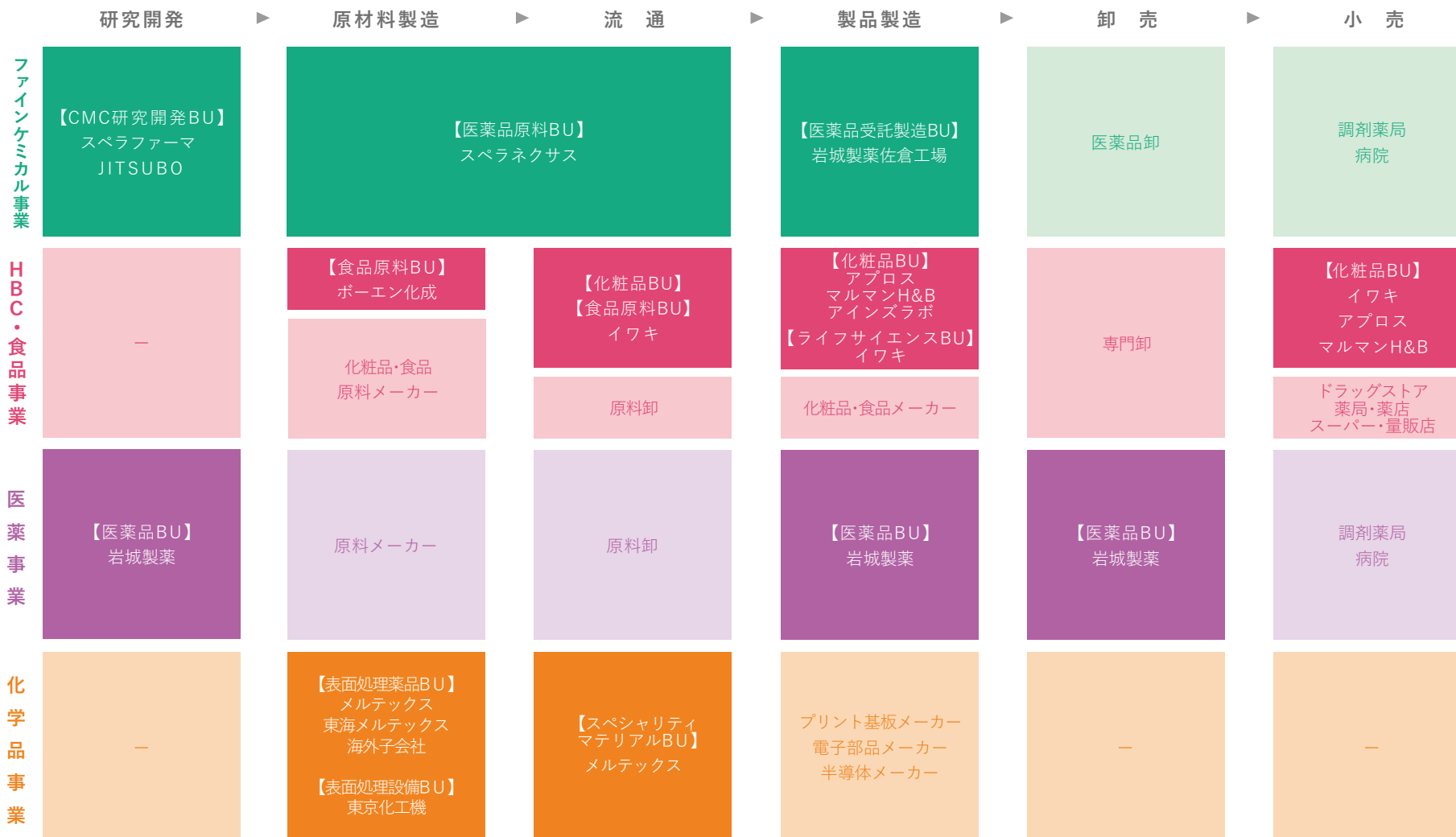
DNAをモチーフにすることで
伝統と先進性を両立するイメージを表現しました。



事業セグメント

バリューチェーン（売上計上マップ）

アステナグループは、ファインケミカルをはじめとした5つの事業において、研究開発から販売まで幅広いバリューチェーンを持っています。



※ソーシャルインパクト事業は広範な分野に事業を展開しているため記載しておりません。

※BU：ビジネスユニット（会計上売上を認識しているユニット）

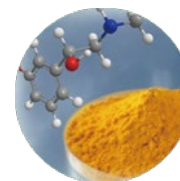
事業セグメント



ファインケミカル事業

ファインケミカル事業は、CMC事業*1、CDMO事業*2、調達プラットフォーム事業の3事業を柱とし、医薬品開発・製造分野において幅広く展開しています。CMC事業は、開発ステージに適した医療用医薬品の研究開発、治験原薬・治験薬製造などのサービスをハイレベルで提供しています。CDMO事業は、固形製剤、注射製剤の治験薬製造から商用製造が可能な設備を有しています。注射設備においては、日米欧の3極PIC/S GMPに準拠するカテゴリ-5相当の封じ込めに対応しています。調達プラットフォーム事業では、多彩かつ高度な大量製造技術を活かし、ジェネリック医薬品の商用原薬の製造、新薬の中間体および原薬の受託製造を手がけ、国内外の信頼あるメーカーから、各種原料・中間体、添加物などの調達と販売を行っています。また、独自の合成技術を活かし、環境に優しく高品質・低コストで、ペプチド原薬の製造プロセスの開発・技術移管・ライセンス事業を行うほか、創業インキュベーション事業として、ベンチャーなどへの出資を通して、国内の新薬開発に貢献しています。

*1 CMC : Chemistry, Manufacturing and Control *2 CDMO : Contract Development & Manufacturing Organization



HBC・食品事業

HBC・食品事業は、主に化粧品と加工食品の領域で原料と一般消費者向け商品の事業を展開しています。化粧品事業では、国内外の化粧品関連企業様に対して独自性を強みとした化粧品原料を販売しています。また、自社ブランドをはじめとする一般消費者向け商品をeコマースや小売店を通じて販売しています。食品事業では、食品関連企業様に対して豊富な品揃えと情報量を強みとして加工食品と機能性食品の原料販売を展開しています。また、独自技術を活かした受託加工製造や一般消費者向け商品の事業も展開しています。お客様の課題を解決すべく、各事業の機能を「深化」し、新たな取り組みにより機能を「進化」させています。

*HBCは「Health & Beauty Care」の略称です。



医薬事業

医薬事業は、医薬品ならびに化粧品の開発・製造・販売を行っています。医薬品は、軟膏やクリーム・ローションなどの半固形製剤の開発・製造・販売や錠剤・散剤など固形剤の製造・販売を行っています。特に、主力の皮膚外用剤としてステロイド外用剤は10成分25品目、抗真菌外用剤は6成分12品目と様々な成分・剤型を用意し、皮膚疾患治療の基礎となる薬剤をニーズに合わせて提供しています。長年の医薬品製造で蓄積した技術、徹底した製造管理・品質管理、MRによる情報提供活動により、安心して使っていただける医薬品をお届けしています。また、化粧品として美容施術の前後も使用していただける医療機関専売化粧品「ナビジョンDR」ブランドを展開しています。皮膚領域における医療関係者との絆を強みとし、美容医療をより身近な存在と感じ、肌をより良いコンディションに整えたい方々をサポートしています。



化学品事業

化学品事業は、表面処理薬品の先端を目指し、高品質高性能な薬品のグローバルな提供をはじめ、研究開発や製造方法の開発に注力しています。プリント基板セグメント向けとしてビルドアップ基板を中心に高機能ビアフィル用めっき薬品や精度の高いシード層エッチング液、電子部品セグメント向けにMLCC素材に適応したすずめっき薬品、半導体セグメント向けにはセンサーやパワーモジュール向けに種々薬品を提供しています。また、今後変化が大きい自動車用途向けには、新しいニーズにお応えすべく開発を進めています。さらに、各種めっき処理に関する機器・装置や金属塩および薬品原料、消耗品の販売も展開し、薬品と装置の総合的なソリューションを提供しています。



ソーシャルインパクト事業

ソーシャルインパクト事業は、社会的な課題の解決を目指す事業を展開しています。特に地域社会と共に事業を創り上げる地域共創型の事業に力を入れています。2014年に「まち・ひと・しごと創生『長期ビジョン』」が策定され、人口急減・超高齢化の進展、将来の地域社会の存続危機という課題に対する政策が実行されてきました。その結果、社会的な課題の認識は進みましたが、それらの多くは未解決です。当社は能登半島の最先端に位置する石川県珠洲市に拠点を置き、地域の皆様とともに、1次産業、エネルギー、ツーリズム、人材、教育の領域における地域共創事業を展開し、循環型地域経済の構築に貢献します。



沿革

1914	大正 3年	薬種問屋、岩城市太郎商店創業
1931	昭和 6年	岩城製薬所設立（現 岩城製薬株式会社）
1937	昭和 12年	大阪出張所開設
1939	昭和 14年	大阪出張所が独立採算制の岩城薬品株式会社として発足
1941	昭和 16年	岩城市太郎商店を株式会社岩城商店に改称 （資本金19万5千円）
1950	昭和 25年	輸入原料の販売開始
1953	昭和 28年	福岡出張所開設（現 福岡オフィス）
1954	昭和 29年	名古屋出張所開設（現 名古屋オフィス）
1955	昭和 30年	富山出張所開設（現 富山オフィス）
1962	昭和 37年	岩城謙太郎 社長就任
1963	昭和 38年	株式会社岩城商店をイワキ株式会社に改称 東京証券取引所第二部 上場
1964	昭和 39年	大阪証券取引所第二部 上場（平成16年1月上場廃止）
1975	昭和 50年	本社 組織再編により原料薬品部、化成品部、食品部が発足
1986	昭和 61年	岩城薬品株式会社を合併し、大阪支社誕生
1989	平成 元年	本社ビル竣工
1994	平成 6年	岩城修 社長就任
2005	平成 17年	東京証券取引所第一部指定

2011	平成 23年	株式交換によりメルテックス株式会社を完全子会社化
2014	平成 26年	創業100周年を迎える
2017	平成 29年	岩城慶太郎 社長就任
2019	令和 元年	IWノースキューブ竣工
2020	令和 2年	スペラファーマ株式会社を完全子会社化 岩城製薬佐倉工場株式会社を孫会社化 イワキ分割準備株式会社設立（現 イワキ株式会社） スペラネクサス株式会社設立 マルマンH&B株式会社を完全子会社化 アステナハートフル株式会社設立 JITSUBO株式会社を孫会社化 アステナホールディングス株式会社として商号変更、持株会社化 本社機能の一部を石川県珠洲市へ移転 奥能登SDGs投資事業有限責任組合（のとSDGsファンド）設立 株式会社イワキ総合研究所をアステナミネルヴァ株式会社へ商号変更
2021	令和 3年	東京証券取引所プライム市場 移行 株式会社アインズラボを孫会社化 イシカワズカン株式会社を孫会社化 株式会社PIXTURE設立 AMトレーディング株式会社設立 TUAT1号投資事業有限責任組合（TUATファンド）設立
2022	令和 4年	瀬戸口智 社長就任 創業110周年を迎える
2023	令和 5年	
2024	令和 6年	



1941年（昭和16年）岩城商店に改称



1963年（昭和38年）
創業50周年記念祝賀会（於サンケイホール）



1989年（平成元年）
現在の本社ビル竣工



2014年（平成26年）
創業100周年感謝の会（於ホテルニューオータニ）

ファインケミカル事業

HBC・食品事業

医薬事業

化学品事業

ソーシャルインパクト事業

TOP MESSAGE

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社の創業者である岩城市太郎は、1923年の関東大震災で薬種問屋を営んでいた店舗を焼失。その2日後、単身で大阪・道修町まで薬を仕入れに行きました。東京の医薬品相場は高騰していましたが、市太郎は頑なに定価販売を継続。以来、「東京でクスリを買うならイワキ」と、お取引先様にご評価頂けるようになったという話は私の好きな当社のエピソードの一つです。

それから100年、2021年の持株会社体制への移行を機に「イワキ株式会社」から社名を変更。石川県珠洲市に本社機能の一部を移転し、新しい企業グループへと生まれ変わりました。今日においても、我々の基本的理念「誠実」「信用」「貢献」に「変革」「連携」を加えた「SPIRIT」はグループの役職員の行動指針として根付いております。

2024年、当社は創業110年を迎えました。創業者から脈々と受け継いだ「SPIRIT」と経営資源を最大限に活用し、役職員1人1人が率先してステークホルダーである皆様の幸せに寄与する活動をしてまいります。



代表取締役社長
瀬戸口 智

Diversify for Tomorrow.



www.astena-hd.com